

# 令和7年度県庁活性化方針

- 県民が主役の新しい富山県の創造、「未来に向けた人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築を推進
- 新年度当初予算編成と県庁の活性化を一体的に推進
- 組織や業務等の抜本的な見直し・再構築・DX・働き方改革の推進による人材の効果的な活用等を図るとともに、  
県民目線、スピード重視、現場主義の実践、市町村や民間との連携のもと、  
県民のウェルビーイング向上を重視



令和6年11月11日



# 県庁活性化方針のポイント①

## I 令和7年度の取組み

### (1) 組織や業務等の抜本的見直し・再構築

- 生成A I等のデジタルツールの活用による業務の効率化
- 官民協働事業レビューにおける県民の意見、予算編成方針と連動した組織や業務等の抜本的な見直し・再構築
- 能登半島地震の検証を踏まえた体制の整備

### (2) 組織の活性化と多様な人材の活用

- プロジェクトチームや庁内複業の活用などによる組織の活性化
- 民間ならではの感覚・発想や専門的な知識・経験を県政に取り入れるための外部人材の積極的活用



# 県庁活性化方針のポイント②

## (3) 職員の育成・確保

- 本年2月に策定した「富山県職員人材育成・確保基本方針」に基づき、職員の主体的なキャリア開発やチャレンジを応援する取組みや採用試験の受験者数の増大に向けた見直しを推進

## (4) DX・働き方改革

- 新たに策定する「DX・働き方改革推進計画」を踏まえ、行政手続のデジタル完結、アナログ規制の見直しに取り組む

## (5) ウェルビーイング経営の推進

- モデルオフィスの活用や執務環境の整備、カスタマーハラスメント対策の推進等により職員のウェルビーイングやエンゲージメントを向上

# 県庁活性化方針のポイント③

## (6) 官民連携の推進と民間活力の導入

- 行政サービスの維持・向上を図るため、民間活力（資金や知恵、ノウハウ）を積極的に活用
- 指定管理者制度導入施設においては、民間参入を一層促進、民間事業者との対話を重ねながら、適切な指定期間や条件を募集要項に反映

## II 中長期的な取組

### (1) 公共施設等マネジメントの推進

- 施設の保有総量の適正化と最適な配置

### (2) 外郭団体を含めた組織の見直し

- 外郭団体を含めた組織について不断の努力で見直し

